

**DeNA SPORTS
GROUP**



P A R T N E R S H I P

株式会社ディー・エヌ・エー
株式会社横浜DeNAベイスターズ
株式会社DeNA川崎ブレイブサンダース
株式会社スポーツクラブ相模原

DeNAのご紹介

インターネットやAIなどデジタル分野での強みを生かし、スポーツ事業などリアル分野でもDelight(デライト)を届けて参ります



一人ひとりに 想像を超えるDelightを

夢中になって遊ぶ楽しさ、日々実感する確かな便利さ
かけがえのない健やかさ、そして世界があっと驚く新しさ
私たちがつくるDelightは、さまざまな形で生活に寄り添い
人生を彩り豊かにします
技術と情熱をもって、挑戦と変化を楽しみ
世界にひろがる、未来につながる Delightを届け続けます

会社概要

商号	株式会社ディー・エヌ・エー
本社	東京都渋谷区
設立	1999年3月
事業内容	モバイルを中心としたインターネットサービス等
代表	岡村 信悟 (代表取締役社長兼CEO)
創業者	南場 智子 (代表取締役会長)
従業員数	2,100 (全拠点、連結)
株式	東証一部上場 (証券コード: 2432) 2015年10月より日経225銘柄
売上収益	1,370億円 (2021年3月期、IFRS)
営業利益	225億円 (2021年3月期、IFRS)

エンターテインメント

社会課題

エンターテインメント領域の課題解決メソッドの応用
パートナーシップ等多様な座組みでの事業展開



新領域



ライブ
ストリーミング



ゲーム



ヘルスケア



スポーツ
まち



新領域



GAME



ENTERTAINMENT



LIVE STREAMING



SPORTS



HEALTH CARE



AUTOMOTIVE



E-COMMERCE



新領域



DeNAが経営参画するプロスポーツチーム

神奈川県内の3つの政令都市(横浜・川崎・相模原など)に主要拠点を置く3大メジャースポーツチームに経営参画しています

DeNA SPORTS GROUP

DeNA

2011



横浜DeNAベイスターズ

創立: 1949年
2011年 TBS からDeNAが承継
国内野球競技人口: 約3,840,000人
年間来場者数(19年): 約2,283,000人

2018



川崎ブレイブサンダース

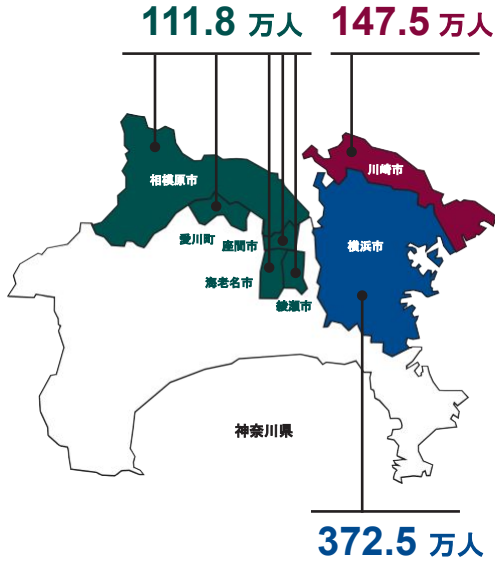
創立: 1950年
2018年 東芝 からDeNAが承継
国内バスケ競技人口: 約2,180,000人
年間来場者数(19-20年): 約141,960人

NEW
2021



SC.相模原

創立: 2008年
2021年 よりDeNAが株式を取得し経営参画
およびトップスポンサーとして協賛開始
サッカー競技人口: 約4,360,000人
年間来場者数(19年): 約48,940人



DeNAスポーツ～ビジネススキーム～

横浜DeNAベイスターズ、川崎ブレイブサンダースの運営を通じプロスポーツにおけるマーケティングノウハウを蓄積して参りました



魅力的な
強いチーム



ファン拡大

強く魅力的なチーム、連日大勢の観客で賑わうスタジアム・アリーナにファンが集まる



投資

収益をチームや設備へと投資し
より強く、魅力的なチームをつくる

チームを支える強
固な事業基盤

徹底したマーケティング

- 来場者アンケート
- 収集データの分析
- 戦略フォーカス
- ターゲティングの設定

観客を集め、得られたデータを元に収益
の最大化を図る

収益増加



DeNAスポーツ～観戦体験の向上～

スポーツ観戦+αの付加価値を提供すべく、非日常空間を演出するイベント開催などを強化しております

横浜DeNAベイスターズ



オリジナルフード&ドリンク



YOKOHAMA GIRLS★FESTIVAL



川崎ブレイブサンダース

オープニング演出



オリジナルフード&ドリンク



&ONE days (SDGsへの取り組み)



YOKOHAMA DeNA BAYSTARS

YOKOHAMA DeNA BAYSTARS



YOKOHAMA DeNA BAYSTARS

2022シーズンスローガン



活動拠点



横浜スタジアム(横浜市)



DOCK OF BAYSTARS YOKOSUKA(横須賀市)

2022年度 JERA セントラルリーグ順位(2022/4/22現在)

順位	チーム	試合	勝敗	負数	引分
1	読売ジャイアンツ	23	16	7	0
2	中日ドラゴンズ	19	11	8	0
3	広島東洋カープ	22	12	9	1
4	東京ヤクルトスワローズ	21	11	10	0
5	横浜DeNAベイスターズ	18	9	9	0
6	阪神タイガース	23	3	19	1



81 | 三浦 大輔
DAISUKE MIURA
監督

2 | 牧 秀吾
SHUGO MAKI
内野手
21年新人特別賞
21年サイクル安打
新人シーズン最多二塁打
※セ・リーグ記録
新人シーズン最多猛打賞
※プロ野球タイ記録
連続打席二塁打:5打席連続
※プロ野球新記録

7 | 佐野 恵太
KEITA SANO
外野手
キャプテン
首位打者(2020)

YOKOHAMA DeNA BAYSTARS

2021-2022シーズンのトピックス

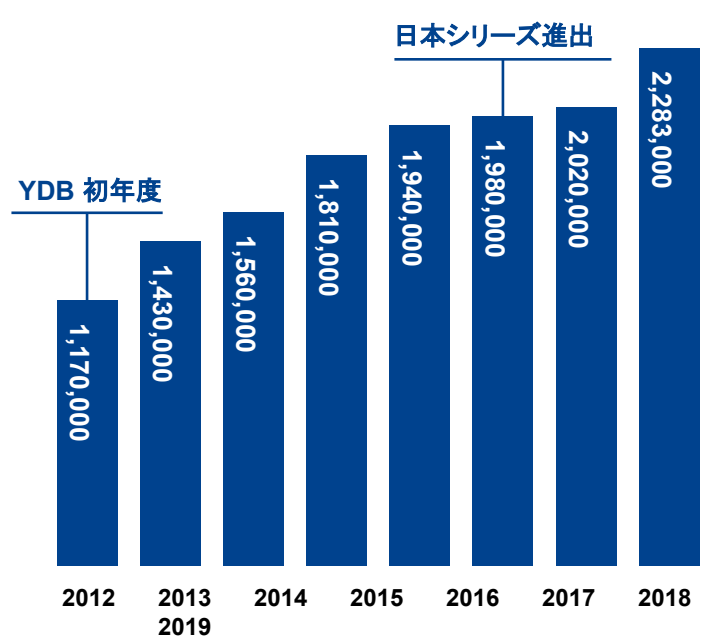
- ・昨年は球団のレジェンド・三浦大輔新監督の就任、プロ野球参入 10 周年を記念し神奈川県内の小学生へギフトバックをプレゼント
- ・コロナ禍におけるオンライン上での新たなスポーツ観戦体験の提供を開始
- ・今季は98年日本一メンバーのコーチ招聘、レギュラークラスの外国人選手の残留、ドラフト1位で小園投手を獲得(市立和歌山)



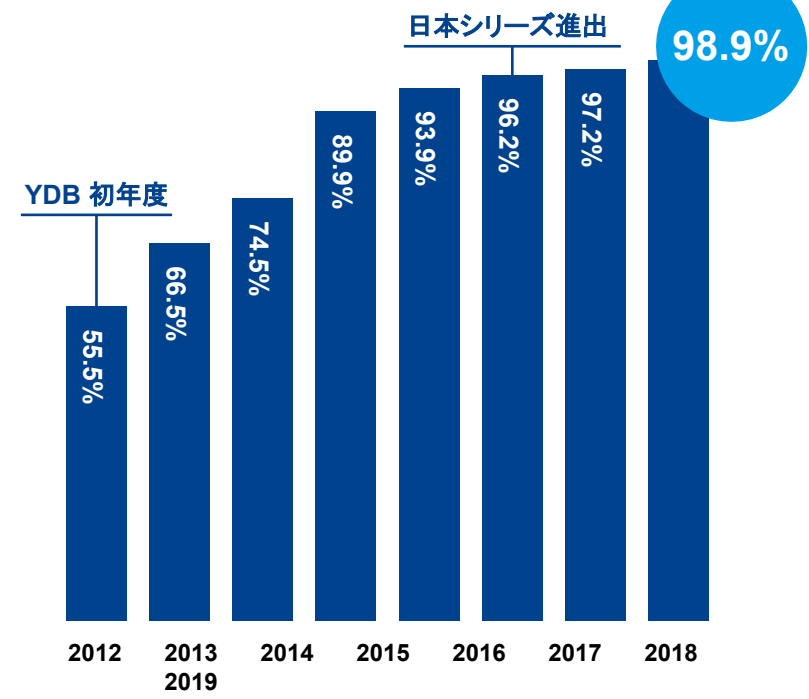
YOKOHAMA DeNA BAYSTARS

観客動員・座席稼働率

観客動員



座席稼働率



YOKOHAMA DeNA BAYSTARS

KAWASAKI BRAVE THUNDERS

KAWASAKI BRAVE THUNDERS



KAWASAKI BRAVE THUNDERS

■ 2021-22 シーズンスローガン

MOVE[®]

未来は、その一歩の連続だ。

■ 活動拠点



川崎市とどろきアリーナ(川崎市)

■ 東地区・2021 - 22 順位(4/22現在)

順位	チーム	勝	負	勝率	地区優勝	対戦表	順位	チーム	勝	負	勝率	地区優勝	対戦表
1	千葉ジェッツ	30	7	.811	M7		1	琉球ゴールデンキングス	43	5	.896	M2	
2	アルバルク東京	36	10	.783	--		2	島根スサノオマシックス	37	12	.755	--	
3	川崎ブレイブサンダース	35	13	.729	--		3	名古屋ダイヤモンドフィニッシュ	28	13	.683	--	
4	宇都宮ブレックス	35	14	.714	--		4	シーホース三河	26	19	.578	--	
5	秋田ノーザンハピネッツ	27	20	.574	--		5	広島ドラゴンフライズ	24	25	.490	--	
6	サンロッカーズ渋谷	28	23	.549	--		6	信州ブレイブウォリアーズ	22	24	.478	--	
7	群馬クレインサンダーズ	20	27	.426	--		7	大阪エヴェッサ	20	29	.408	--	
8	横浜ビー・コルセアーズ	18	32	.360	--		8	富山グラウジーズ	20	32	.385	--	
9	レバンガ北海道	17	31	.354	--		9	滋賀レイクスターズ	13	36	.265	--	
10	茨城ロボッツ	14	32	.304	--		10	京都ハンナリーズ	13	38	.255	--	
11	新潟アルビレックスBB	5	39	.114	--		11	三遠ネオフェニックス	10	40	.200	--	



佐藤 賢次
Kenji Sato
ヘッドコーチ



0 | 藤井 祐真
Yuma Fujii
PG

<B.LEAGUE>
レギュラーシーズンベストファイブ
ベストディフェンダー賞
※ともに2019-20 2年連続受賞
<第97回天皇杯>
MVP賞受賞
大会ベスト6



7 | 篠山 竜青
Ryusei Shinoyama
PG

2019年
FIBAバスケットボール・ワールドカップ
日本代表キャプテン

KAWASAKI BRAVE THUNDERS

2021-22 年シーズンのトピックス

- ・ 強敵・千葉ジェッツを下しクラブ史上初の天皇杯2連覇！
- ・ 日本初の“大都市型バスケットアリーナ”の誕生へ建設場所最終交渉

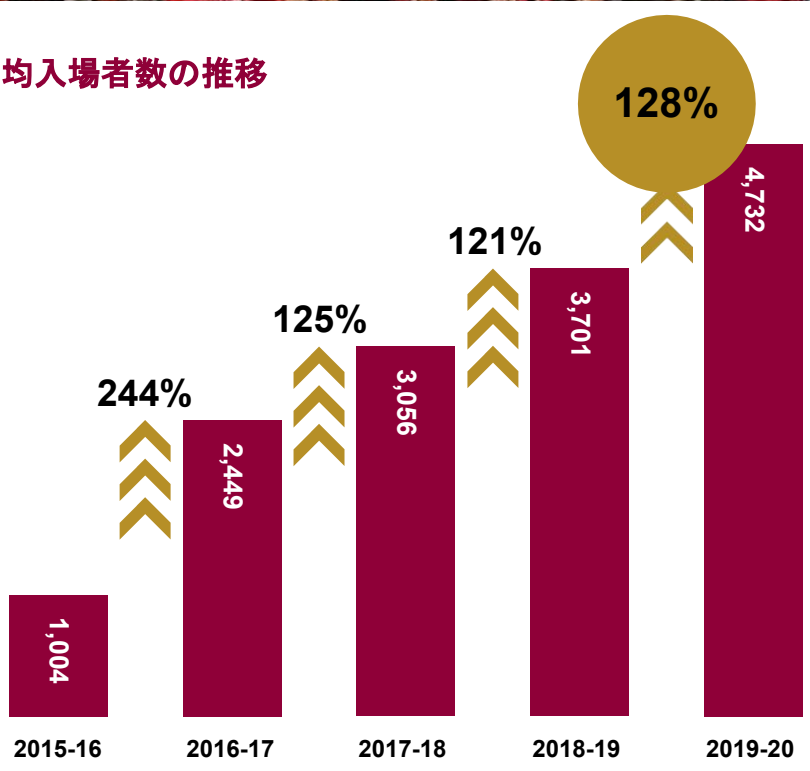


KAWASAKI BRAVE THUNDERS

観客動員・座席稼働率

KAWASAKI BRAVE THUNDERS

平均入場者数の推移



S.C. SAGAMIHARA

SC.SAGAMIHARA



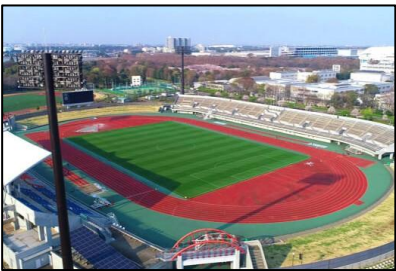
S.C. SAGAMIHARA

■ クラブアイデンティティ

ENERGY FOOTBALL

熱量を、
ひとつあげよう。
ひとつになるために

■ 活動拠点



相模原ギオンスタジアム(相模原市)



相模原スポーツ・レクリエーションパーク(相模原市)

■ 明治安田生命J3リーグ・2022

順位	チーム	勝点	試合数	勝	分	負	得失点
1	福島	14	6	4	2	0	8
2	鹿児島	14	6	4	2	0	5
3	松本	13	6	4	1	1	6
4	いわき	11	6	3	2	1	5
5	長野	11	6	3	2	1	1
6	今治	10	6	3	1	2	-1
7	宮崎	9	6	2	3	1	2
8	沼津	9	6	3	0	3	1
9	北九州	8	6	2	2	2	-2
10	岐阜	7	5	2	1	2	1
11	讃岐	7	6	2	1	3	0
12	富山	7	6	2	1	3	-1
13	藤枝	7	6	2	1	3	-1
14	愛媛	7	6	2	1	3	-3
15	相模原	6	6	2	0	4	-4
16	鳥取	4	5	1	1	3	-4
17	八戸	3	6	1	0	5	-6
18	YS横浜	1	6	0	1	5	-7



高木琢也
TAKUYA TAKAGI
監督



10 | 藤本淳吾
JUNGO FUJIMOTO
MF
元日本代表(13試合出場)



19 | 松橋優安
YUAN MATSUHASHI
MF
U-18日本代表 パリ五輪世代

SC.SAGAMIHARA

S.C. SAGAMIHARA

2021 シーズンのトピックス

- ・ 昨年はクラブ創設 12 年目で悲願のJ2 リーグ昇格(最終戦で残念ながらJ3降格)
- ・ 2021 年 4 月よりDeNA が経営参画& トップスポンサーとして協賛
- ・ JR 相模原駅直結の新スタジアム構想

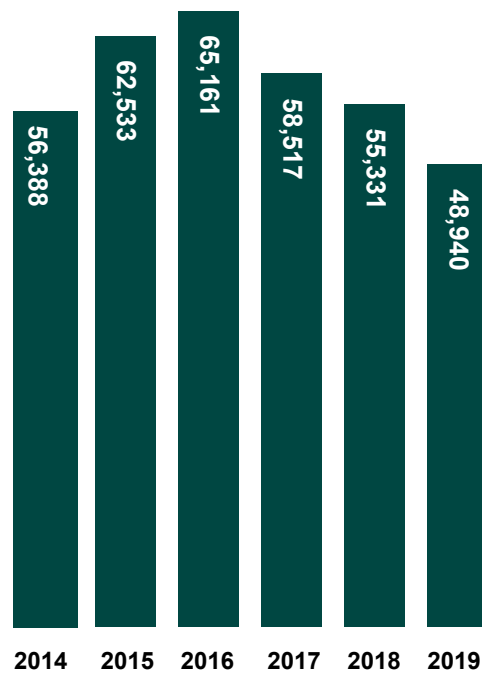


S.C. SAGAMIHARA

観客動員・座席稼働率

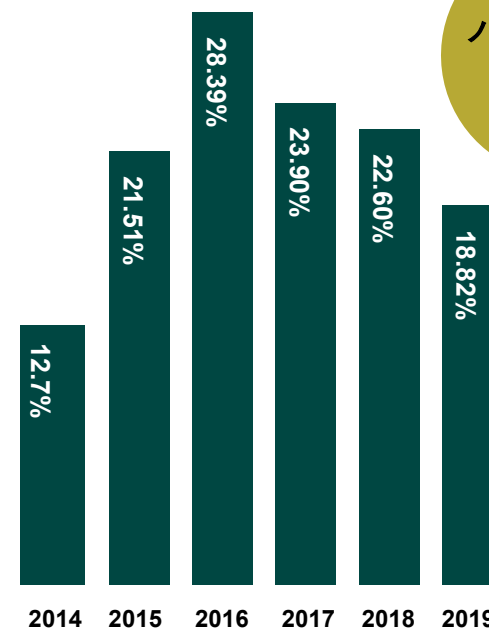
観客動員

J3リーグ
発足&参加



座席稼働率

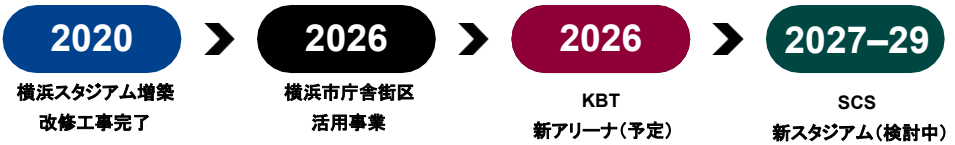
J3リーグ
発足&参加



DeNAの
ノウハウを生かし
更なる成長を
目指します

地域の賑わいを生み出す拠点づくり

各クラブ、DeNA 本社で新たな拠点づくりの計画が進んでいます



SMART CITY / STADIUM / ARENA



初のJ1へ
2027～29年 新スタジアム
(検討中)



B1制覇へ
2026年 新アリーナ
(予定)



スマートシティ
2026年 横浜市庁舎街区
活用事業



1998年以來の
日本一へ
2020年 横浜スタジアム
増築・改修工事完了

DeNA SPORTS PARTNERSHIPがご提供するバリュー

- ・貴社におけるブランディング、販促、福利厚生、CSR、ホスピタリティの強化
- ・3チームを活用した技術実証、スポーツビジネスの可能性の追求
- ・さらにDeNA 本社のAI、各事業とのアライアンス

PARTNERSHIP

スポンサーシップでできること



- ブランディング
- 販促
- 福利厚生
- CSR
- ホスピタリティ

3チームとのビジネス連携／PoC



スポンサーの枠を超えスポーツの価値を最大限にご活用
頂けるビジネススキームをご提案致します

【事例紹介】

2019よりKDDI株式会社とYDBで先端テクノロジーを活用した
野球観戦のエンタメ化に取り組んでおります



共同開発した新たな観戦スタイル「バーチャルハマスタ」



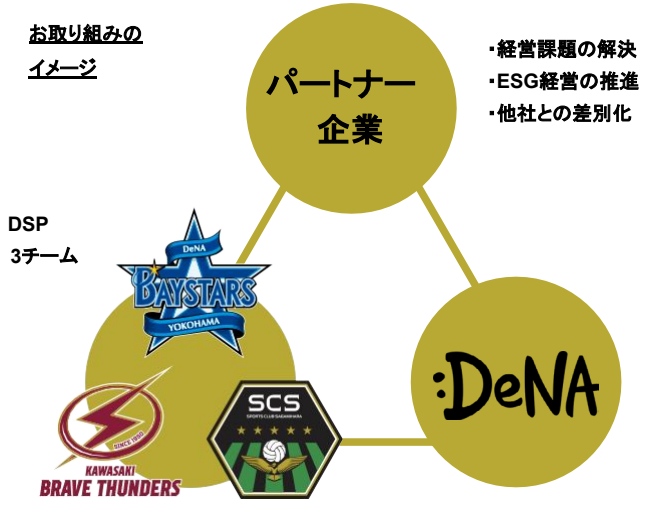
共同事業としてスタートした多視点カメラアプリ
「ペイブライムカメラ」

DeNAとのアライアンス



DSP3チームとの連携に加えDeNA本社の強みを生かした
アライアンスをご提案致します

お取り組みの
イメージ



- ・熱狂的なファンの存在
- ・プレミアムな価値を持つ
チケットやサイングッズを
生かした販促施策のご提案
- ・県内3つの政令市を網羅

- ・インターネット×AI分野
- ・ヘルスケア、エンタメなど 幅広い事業領域

:DeNA SPORTS GROUP



スポーツの力でひととまちを元気にする